

3. 中心市街地の活性化の目標

〔1〕 中心市街地の活性化の目標

中心市街地活性化のビジョン、基本方針に基づく、中心市街地活性化の目標とその指標について次のとおり設定する。

◇伊勢市の中心市街地活性化のビジョン

～働きやすく、暮らしやすい、歴史と文化を感じる 伊勢のまち～

中心市街地活性化の基本方針

基本方針①	基本方針②	基本方針③
魅力的な商店街づくりと、回遊性のあるまちづくり	歩いて生活しやすく、安全に暮らせるまちづくり	式年遷宮を契機とした誘客の推進と「おもてなしの心」によるまちづくり

中心市街地活性化の目標

目標①	目標②	目標③
商業の活性化とまちなか回遊性の向上	都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の促進	観光の取組による中心市街地のにぎわい向上

目標指標

目標指標	目標指標	目標指標
①日平均歩行者通行量 ②中心市街地活性化区域内の店舗等の増減数 ③中心市街地活性化区域内の4商店街の店舗等の増減数	④中心市街地の居住人口の社会増減	⑤中心市街地活性化区域内の宿泊施設の宿泊者数

【2】計画期間の考え方

本基本計画の計画期間は、令和8年4月から令和13年3月までの5年間とする。

【3】目標指標の設定の考え方

中心市街地活性化の目標を達成するための「指標」及び「目標値」を下記のとおり設定する。

基本的な方針	中心市街地の活性化の目標	目標指標	新計画基準値	新計画目標値
魅力的な商店街づくりと、回遊性のあるまちづくり	商業の活性化とまちなか回遊性の向上	日平均歩行者通行量（4商店街）	5,705人 (R6年度実績値)	8,186人 (R12年度)
		【参考指標】歩行者通行量（7地点）	3,543人 (R6年度実績値)	3,822人 (R12年度)
		中心市街地活性化区域内の店舗等の増減数	△63軒 (R3～R6年度累計)	△44軒 (R8～R12年度累計)
		4商店街の店舗等の増減数	△13軒 (R2～R6年度累計)	△3軒 (R8～R12年度累計)
歩いて生活しやすく、安全に暮らせるまちづくり	都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の促進	中心市街地の居住人口の社会増減	△152人 (R2～R6年度累計)	△72人 (R8～R12年度累計)
式年遷宮を契機とした誘客の推進と、「おもてなしの心」によるまちづくり	観光の取組による中心市街地のにぎわい向上	中心市街地活性化区域内の宿泊施設の宿泊者数	425,382人 (R6年度実績値)	497,000人 (R12年度)

目標 1

商業の活性化とまちなか回遊性の向上

目標指標① 日平均歩行者通行量（4商店街）

基準値 R6 年度
5,705人



目標値 R12 年度
8,186人

伊勢市駅・外宮周辺から人の流れをつくり中心市街地の主たる4つの商店街の歩行者通行量を増加させ、その波及効果として他の商店街も含めた区域全体への回遊性を高め、まちなかのにぎわい創出を図ることが重要である。このため、現在の取組事業の継続に加えまちなかウォークブル推進事業など新たな取組みが必要であり、事業効果を重点的に計測するための目標指標として設定する。

※調査方法：A Iカメラ

※調査日：毎日

※調査主体：伊勢市

※調査対象：中心市街地内商店街に設置された4地点のA Iカメラによる歩行者通行量
4商店街：外宮参道、伊勢市駅前商店街、伊勢銀座新道商店街、伊勢高柳商店街

【目標指標の設定方法について】

外宮参道は、伊勢市駅と外宮を繋ぐ参道であることから、令和15年に予定されている第63回神宮式年遷宮への機運醸成を鑑み、平成25年に執り行われた第62回神宮式年遷宮前の参拝者や歩行者の動向を踏まえ、目標年度の歩行者通行量を推計する。

他の3地点については、近年新型コロナウイルス感染症拡大対策により歩行者数への影響があったことから、過去5年よりさらに遡った実績値を踏まえ、目標年度の歩行者通行量を推計する。

各地点での推計値に事業効果を積み上げ、目標値を定める。

①外宮参道

・外宮参拝者数	H16 3,803人/日
	H22 6,303人/日
	R6 6,925人/日
・外宮参道歩行者通行量	H16 1,004人/日
・外宮参拝者数の伸び率	$6,303 \div 3,803 \div 1.65$
・R12の参拝者数推計	$6,925 \times 1.65 \div 11,426人/日$
・外宮参道歩行者通行量の外宮参拝者数における割合	

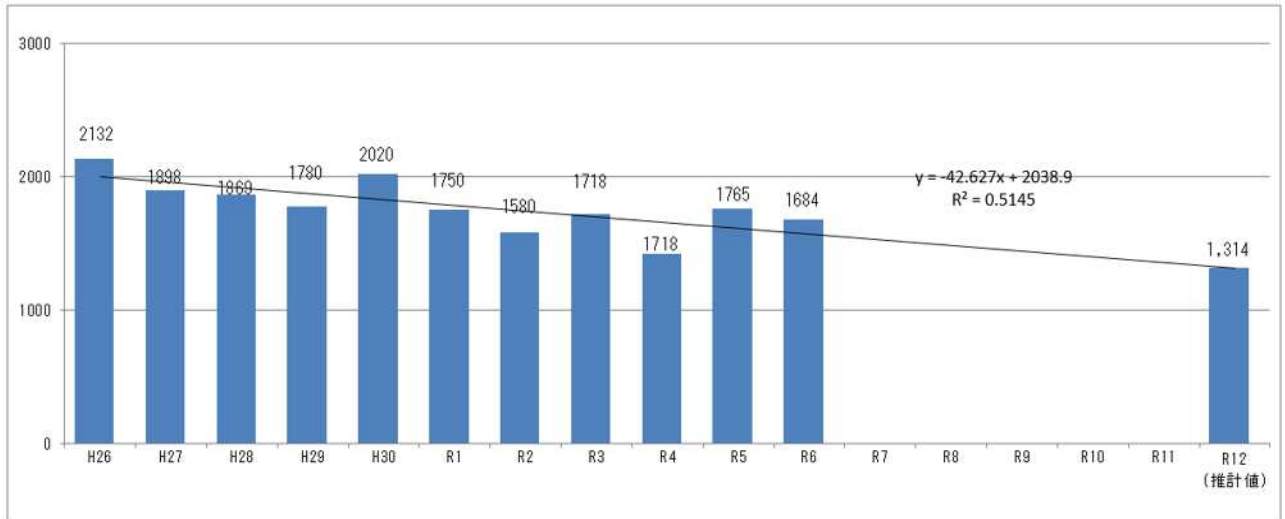
- ・ H16 から R6 の参拝者数と歩行者通行量から算出 0.572

※ただし、歩行者通行量が欠測であった H17～H19 と、新型コロナウイルス感染症拡大対策の影響があった R2～R4 は除外する。

- ・ R12 外宮参道歩行者通行量推計 $11,426 \times 0.572 = 6,536$ 人/日

②伊勢市駅前商店街、伊勢銀座新道商店街、伊勢高柳商店街

前回の第 62 回神宮式年遷宮以降の各商店街の歩行者通行量より R12 の歩行者通行量を推計する。



③4 地点の目標値設定

- ・ ①及び②で算出した推計値に事業効果を積み上げ目標値を設定する。

R12 推計値 $6,536 + 1,314 = 7,850$ 人/日

R12 目標値 $7,850 + \text{事業効果} (230 + 98 + 8) = \mathbf{8,186}$ 人/日

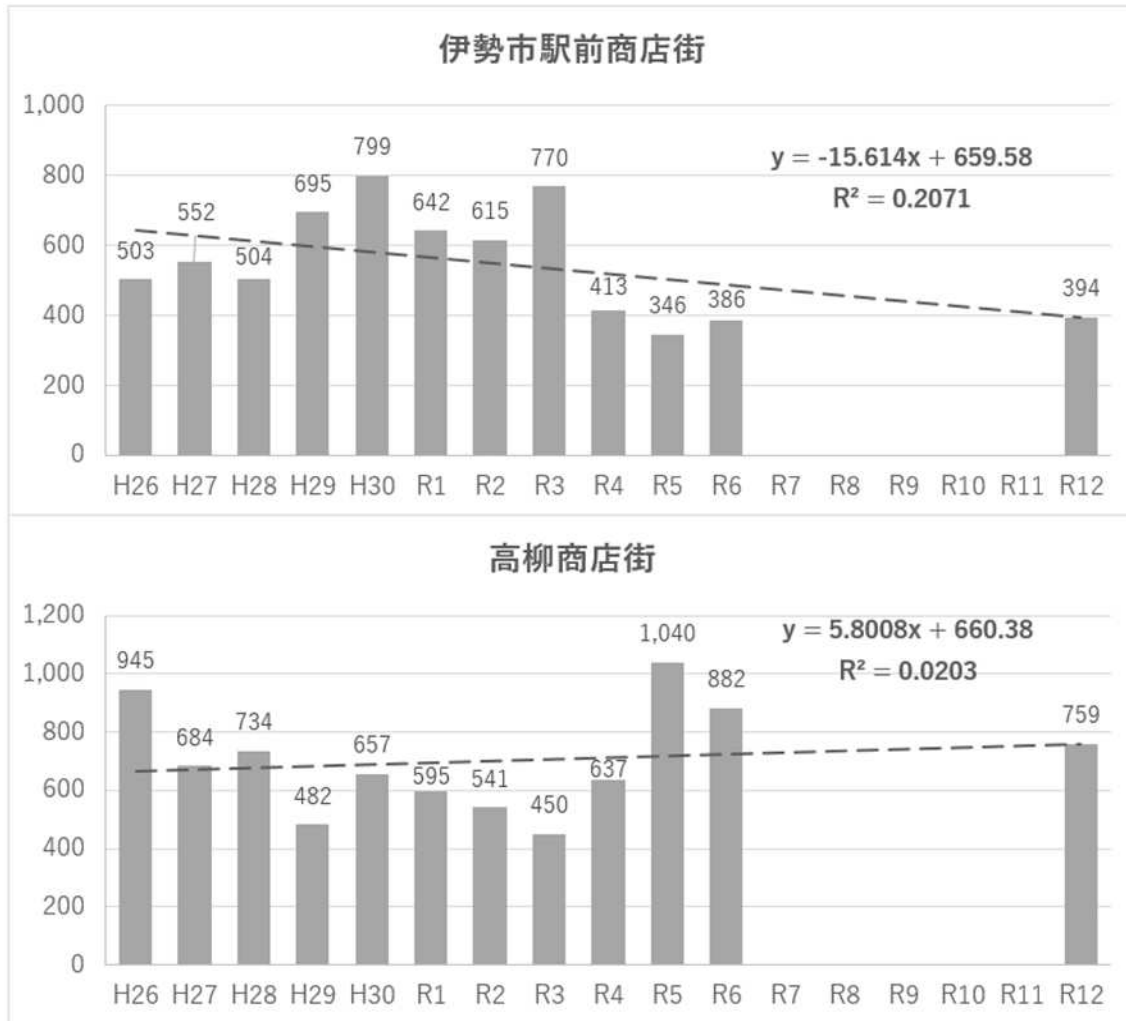
【目標指標に寄与する各事業について】

・まちなかウォーカブル推進事業

居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成として、商店街において道路上へのパークレットや公園と民地を一体活用したオープンスペース、道路占用特例を活用した店舗軒先での歩行者の利便増進を図る取り組みなどを実施することにより、歩行者通行量の増加を促進する。

外宮参道・伊勢市駅前商店街・伊勢高柳商店街の歩行者通行量 (R12 推計値) を 3% 増加させる。

- ・ 外宮参道の歩行者通行量 R12 推計値 ①より 6,536 人/日
伊勢市駅前商店街・高柳商店街の歩行者通行量 R12 推計値
H26 から R6 の実測値から線形回帰にて推計 (次ページグラフ)
- ・ $(6,536 + 394 + 759) \times 3\% \doteq \mathbf{230}$ 人増加



・伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業

月夜見宮に近い商店街において店舗の情報発信や魅力向上イベントを開催することにより、月夜見宮参拝者を周辺商店街へ誘導し、歩行者通行量の増加を促進する。

月夜見宮参拝者数は、前回の第62回神宮式年遷宮以降もコロナウイルス感染症拡大対策の影響のあったR2からR4を除き増加傾向にあり、今後も同様に推移すると想定し、過去10年間の外宮参拝者数に対する月夜見宮参拝者数の比率からR12の参拝者数を推計する。

- ・月夜見宮参拝者数の外宮参拝者数における割合
H27からR6の各参拝者数から算出 0.043
- ・①で算出したR12外宮参拝者数推計 11,426人/日
月夜見宮参拝者数推計 $11,426 \times 0.043 = 491$ 人/日
- ・月夜見宮参拝者の20%を商店街に誘導
 $491 \times 20\% = 98$ 人/日
- ・月夜見宮に近い伊勢市駅前商店街・伊勢銀座新道商店街・伊勢高柳商店街で歩行者通行量を **98人増加**する。

・伊勢市健康福祉ステーション利用促進事業

伊勢市駅前に位置する伊勢市健康福祉ステーションにおいて、利用者の駐車料金無料化による負担軽減で、隣接する商店街への来訪のきっかけを作り、さらに商店街と連携した取り組みやイベント等の実施により、商店街への回遊を促進し、歩行者通行量を増加する。

- ・健康福祉ステーション利用者数の約5%を回遊させる。
- ・利用者数 R5 53,968人 R6 61,125人 平均 57,546人
 $57,546 \div 365 \text{日} = 157 \text{人/日}$
 $157 \text{人} \times 5\% \div \underline{\underline{8 \text{人増加}}}$

【間接的に効果が見込まれる事業】

・文化資源保存活用事業

新たに中心市街地区域内に開館する伊勢市歴史博物館において、本市の歴史文化や地域資源の情報を発信し、市内の名所・旧跡や博物館等への周遊を促す。

・御遷宮誘客宣伝事業、お木曳行事魅力発信事業

令和15年に第63回神宮式年遷宮が予定されていることや、「お木曳行事」が令和8年及び令和9年に予定されていることから、伊勢の魅力発信やイベントの開催等により、更なる誘客と中心市街地への集客を図る。

・伊勢神宮奉納全国花火大会

「伊勢神宮奉納全国花火大会」を開催することで、交流人口を増加させ、会場への移動の拠点となる駅周辺や、会場への移動経路上の商店街等への回遊を促進する。

・お伊勢さんマラソン

伊勢市出身でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき氏が大会長を務める「野口みずき杯中日三重お伊勢さんマラソン」へ参加する多くの県外・国外からの来訪者について、中心市街地での宿泊や飲食、中心市街地への回遊を促進する。

・公共交通機関とのタイアップキャンペーン事業

公共交通機関とタイアップして、旅行商品と連動させたポスター等を作成し、主要駅に掲出することで、公共交通機関を利用した観光客を増加させ、外宮への参拝者を増加させるとともに、その観光客を他の事業と連携して中心市街地内の各商店街へ促す。

・着地型旅行商品造成事業

何度も伊勢に来ていただく動機付けとなるような伊勢の魅力を盛り込み、多様化する観光客ニーズにも対応した事業企画、旅行商品造成及びその販売促進、プロモーションを行うことにより、伊勢市駅周辺への集客や回遊を促進する。

・商店街空き店舗対策支援事業

商店街等が区域の不足業種やニーズに敵う業種を空き店舗に誘致する事業、また、空き店舗所有者が貸出すために空き店舗を改装する事業に対して、まちづくり会社が補助することにより、空き店舗の解消により商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

・商店街等振興対策事業

商店街等の発展及び活性化を目的として、商店街振興組合等が行う事業に対して補助をする。また、AI カメラを用いた歩行者通行量の調査や調査結果の活用、効果の検証により、商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

・河崎まちなみ魅力創出事業

伊勢河崎商人館の活用や、舟運、商人市等のイベントの実施、並びに空町家や空蔵等の利活用を促進する。

・自動運転バス事業

伊勢市駅と外宮・内宮を自動運転バスで結ぶことで、内宮から市の中心市街地への人の流れを促進する。

・伊勢市「日本版ライドシェア」長期実証実験

タクシーの稼働台数が不足する金曜と土曜の夜間にライドシェア車両を運行し、市民と観光客へ効率的な移動手段を提供することで、宿泊施設や飲食店が多く集まる市の中心市街地への人の流れを促進する。

【参考指標】

・歩行者通行量（中心市街地活性化区域内の5商店街+伊勢市駅北口+河崎地区）

歩行者通行量については、第2期計画からの継続した事業の効果や活性化の変化等を把握するため、第2期基本計画で目標指標としていた7地点の人手観測による歩行者通行量を参考指標とする。なお、第2期計画では年1回としていた調査を第3期計画では年2回計測を行う。

・歩行者通行量（7地点） 3,543人（R6） 3,822人（R12 目標値）

7地点：伊勢市駅前商店街、伊勢銀座新道商店街、伊勢高柳商店街、浦之橋商店街、伊勢明倫商店街、市道北口線、市道外宮二見線

目標指標② 中心市街地活性化区域内の店舗等の増減数

基準値 R3～R6 年度累計
△ 63軒



目標値 R8～R12 年度累計
△ 44軒

前期計画の目標指標として、従来は商店街における「新規出店数」を設定していた。しかし、中心市街地全域の商業活性化を正確に測るためには、対象エリアを拡大する必要があるため、新たな目標指標として、中心市街地における店舗等の増減数を設定する。これにより、より包括的な商業活性化の状況を把握することができ、計画遂行の成果を適切に評価することが可能となる。なお、「店舗等」とは、中心市街地活性化基本計画区域内において営業活動を行うすべての事業所を指す。具体的には、小売店、飲食店、事務所、工場、その他サービス業等の事業所を含み、その総数の増減及び内訳を測定する。

※調査方法：現地確認

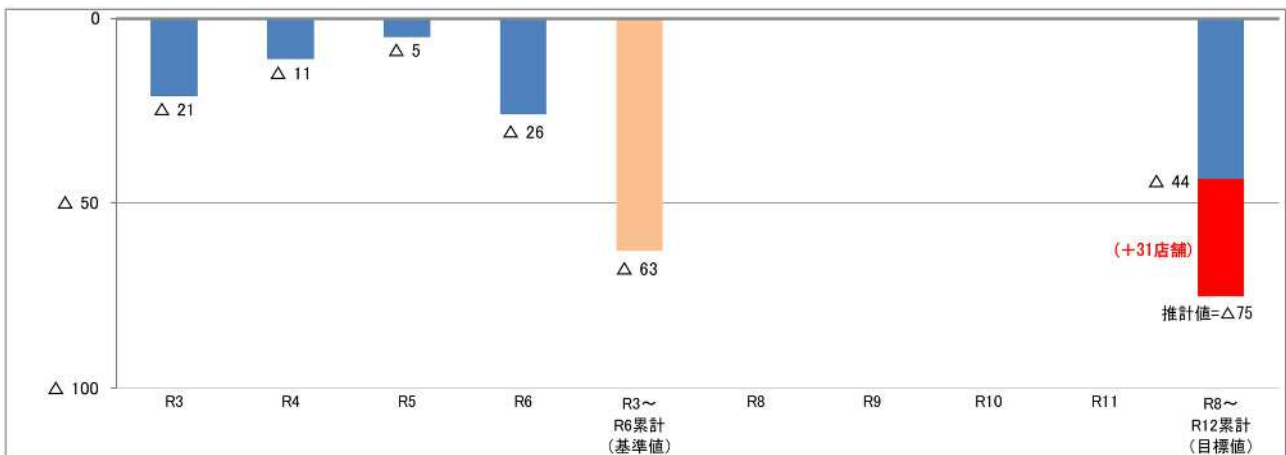
※調査月：各年3月

※調査主体：伊勢市

※調査対象：中心市街地活性化区域

【目標指標の設定方法について】

R3年度～R6年度における平均値から、目標年度の数値を推計し、事業効果を積み上げ目標値を定める。



【目標指標に寄与する各事業について】

・経営力向上支援事業利子補給補助金

三重県融資制度及び日本政策金融公庫の融資を受けた場合の利子の一部を補助することにより、区域内店舗の持続的発展や業績向上など、中小企業者の経営維持・向上を図る。本事業の申請件数を増加させることにより、廃業店舗を減少させ店舗数の維持に繋げる。過去の申請件数の平均から、本計画期間は年間申請件数の30%増加を目指す。

- ・ R2～R6 の平均申請数 3.8 件
- ・ 年間 5 件 (30%増) を目標 $5 - 3.8 = 1.2 \times 5 \text{年} = \underline{6 \text{軒増加}}$
- ・ 事業効果の内訳： 1 / 6 (目標指標③における 4 商店街)
5 / 6 (上記商店街以外)

・ 三重県版経営向上計画実施支援補助金

経営課題の解決に向け策定した計画に基づいた取り組みに係る費用の一部を補助することにより、経営力の強化や業績の向上に繋げ、中小企業者の経営維持・向上を図る。

本事業の申請件数を増加させることにより、廃業店舗を減少させ店舗数の維持に繋げる。過去の申請件数の平均から、本計画期間は年間申請件数の 30%増加を目指す。

- ・ R2～R6 の平均 4.4 件
- ・ 年間 6 件 (30%増) を目標 $6 - 4.4 = 1.6 \times 5 \text{年} = \underline{8 \text{軒増加}}$
- ・ 事業効果の内訳： 1 / 8 (目標指標③における 4 商店街)
7 / 8 (上記商店街以外)

・ 創業支援事業

創業や事業所の移転に必要な経費の一部を補助することで、新規出店を促進させる。過去の申請件数の平均から、本計画期間は年間申請件数の 30%増加を目指す。

- ・ R2～R6 の平均 5.4 件
- ・ 年間 7 件 (30%増) を目標 $7 - 5.4 = 1.6 \times 5 \text{年} = \underline{8 \text{軒増加}}$
- ・ 事業効果の内訳： 1 / 8 (目標指標③における 4 商店街)

※下記創業支援事業、伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業と重複

7 / 8 (上記商店街以外)

・ 商店街空き店舗対策支援事業、伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業 (目標指標③における 4 商店街)

商店街空き店舗対策支援事業を継続して実施することに加え、イベント実施による啓発の強化や、各商店街における空き店舗リーシングの取り組みと連携し、更なる店舗利用希望者の増加を促進させる。

- ・ 年間 1 件増加を目標 $1 \text{件} \times 5 \text{年間} = \underline{5 \text{軒増加}}$

・ 創業支援事業、伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業 (目標指標③における 4 商店街)

商店街空き店舗対策支援事業と同様に継続した事業実施に加え、イベント実施による啓発の強化や、各商店街における空き店舗リーシングの取り組みと連携し、更なる創業

の創出を図り店舗数の増加を促進させる。

- ・年間1件増加を目標 1件×5年間 = 5軒増加

・全事業の効果の内訳

・目標指標③における4商店街	1 + 1 + 5 + 5	=12軒
・上記商店街以外	5 + 7 + 7	=19軒
・合計		<u>31軒増加</u>

【間接的に効果が見込まれる事業】

・まちなかウォークアブル推進事業

中心市街地の商店街等において、ウォークアブル空間を創出することで、地域の魅力を高め、中心市街地への居住の促進に繋げ、商業の活性化を図る。

・商店街空き店舗対策支援事業

商店街等が区域の不足業種やニーズに敵う業種を空き店舗に誘致する事業、また、空き店舗所有者が貸出すために空き店舗を改装する事業に対して、まちづくり会社が補助することにより、商店街の集客力及び機能回復の促進を目的として、空き店舗の解消を図る。

・商業魅力アップ支援事業

地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たにに取り組む商店街などの商業団体等に対して、事業費の一部を補助することで、商業の振興を図る。

・商店街等振興対策事業

商店街等の発展及び活性化を目的として、商店街振興組合等が行う事業に対して補助をする。また、AIカメラを用いた歩行者通行量の調査や調査結果の活用、効果の検証により、商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

・中小企業サポート事業

中小企業者の経営基盤強化や経営向上の支援や、創業支援員による創業環境づくりなどに取り組みにより、商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

・伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業

各商店街において、空き店舗のリーシング、空き地、空き店舗を利用した交流の場の整備、それを活用した集客を図るイベントを実施する。

目標指標③ 4商店街の店舗等の増減数

基準値 R2～R6 年度累計
△ 13軒



目標値 R8～R12 年度累計
△ 3軒

目標指標①日平均歩行者通行量（4商店街）と同様に、中心市街区域内の4つの商店街を活性化させ、その波及効果により区域全体への回遊性を高め、まちなかのにぎわい創出を図ることが重要である。新たな取り組みであるまちなかウォークブル推進事業などは、商店街への来訪者が増加することにより、その間接的効果として店舗数の維持向上が期待できる。このことから、4つの商店街の店舗等の増減を重点的に計測するための目標指標として設定する。なお、「店舗等」とは、目標指標②と同様とする。

※調査方法：現地確認

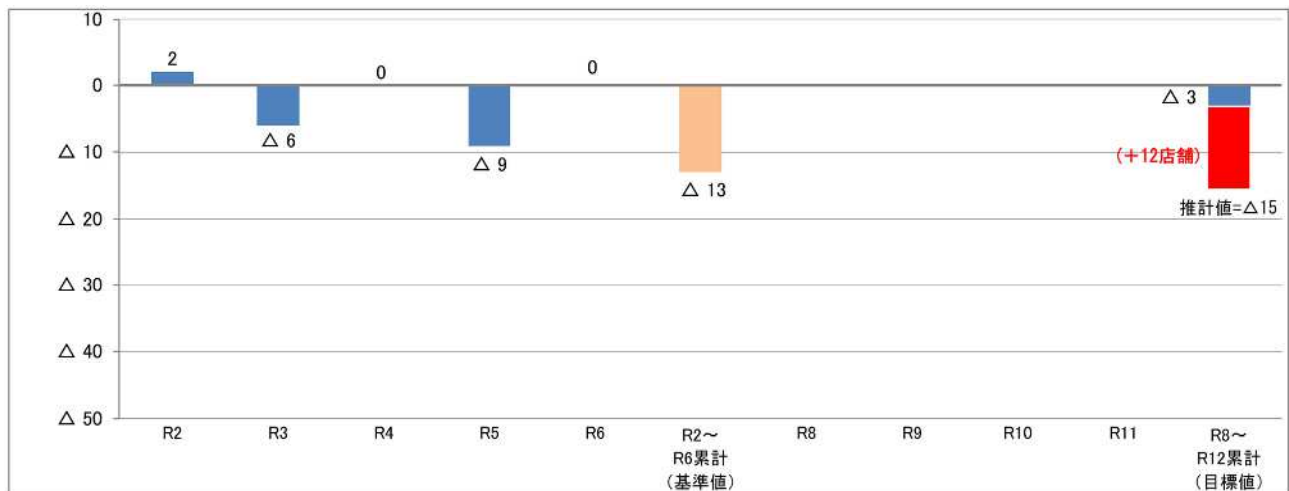
※調査月：各年3月

※調査主体：伊勢市

※調査対象：外宮参道、伊勢市駅前商店街、伊勢銀座新道商店街、伊勢高柳商店街

【目標指標の設定方法について】

R2年度～R6年度における平均値から、目標年度の数値を推計し、事業効果を積み上げ目標値を定める。



【目標指標に寄与する各事業について】

・商店街空き店舗対策支援事業、伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業

商店街空き店舗対策支援事業を継続して実施することに加え、イベント実施による啓発の強化や、各商店街における空き店舗リーシングの取り組みと連携し、更なる店舗利用希望者の増加を促進させる。

・年間1件増加を目標 1件×5年間 = 5軒増加

・ **創業支援事業、伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業**

商店街空き店舗対策支援事業と同様に継続した事業実施に加え、イベント実施による啓発の強化や、各商店街における空き店舗リーシングの取り組みと連携し、更なる創業の創出を図り店舗数の増加を促進させる。

- ・ 年間1件増加を目標 $1 \text{ 件} \times 5 \text{ 年間} = \underline{5 \text{ 軒増加}}$

・ **経営力向上支援事業利子補給補助金**

三重県融資制度及び日本政策金融公庫の融資を受けた場合の利子の一部を補助することにより、区域内店舗の持続的発展や業績向上など、中小企業者の経営維持・向上を図る。本事業の申請件数を増加させることにより、廃業店舗を減少させ店舗数の維持に繋げる。過去の申請件数の平均から、本計画期間は年間申請件数の30%増加を目指す。

- ・ R2～R6の平均申請数 3.8件
- ・ 年間5件(30%増)を目標 $5 - 3.8 = 1.2 \times 5 \text{ 年} = \underline{6 \text{ 軒増加}}$
- ・ 事業効果の内訳：1/6(目標指標③における4商店街)
5/6(上記商店街以外)

・ **三重県版経営力向上計画実施支援補助金**

経営課題の解決に向け策定した計画に基づいた取り組みに係る費用の一部を補助することにより、経営力の強化や業績の向上に繋げ、中小企業者の経営維持・向上を図る。

本事業の申請件数を増加させることにより、廃業店舗を減少させ店舗数の維持に繋げる。過去の申請件数の平均から、本計画期間は年間申請件数の30%増加を目指す。

- ・ R2～R6の平均 4.4件
- ・ 年間6件(30%増)を目標 $6 - 4.4 = 1.6 \times 5 \text{ 年} = \underline{8 \text{ 軒増加}}$
- ・ 事業効果の内訳：1/8(目標指標③における4商店街)
7/8(上記商店街以外)

・ **創業支援事業**

商店街事業と合わせて実施しているため、単独での実績は0。

・ **全事業効果の内訳**

$$5 + 5 + 1 + 1 = \underline{12 \text{ 軒増加}}$$

【間接的に効果が見込まれる事業】**・まちなかウォークアブル推進事業**

中心市街地の商店街等において、ウォークアブル空間を創出することで、地域の魅力を高め、中心市街地への居住の促進に繋げ、商業の活性化を図る。

・商業魅力アップ支援事業

地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商店街などの商業団体等に対して、事業費の一部を補助することで、商業の振興を図る。

・商店街等振興対策事業

商店街等の発展及び活性化を目的として、商店街振興組合等が行う事業に対して補助をする。また、AI カメラを用いた歩行者通行量の調査や調査結果の活用、効果の検証により、商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

・中小企業サポート事業

中小企業者の経営基盤強化や経営向上の支援や、創業支援員による創業環境づくりなどに取り組みにより、商業の活性化とまちなか回遊性の向上を図る。

目標2

都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の促進

目標指標④ 中心市街地の居住人口の社会増減

基準値 R2～R6 年度累計
△152人



目標値 R8～R12 年度累計
△72人

前期計画において、まちなか居住の誘導対策を実施したが、自然減少と社会減少が続いており、人口が減少している。まちなか活動の主役で、各分野でのにぎわいの源となる「人」の減少を抑えるため、事業の新たな取組が必要であり、その各種事業効果を計測するための目標指標として設定する。

※調査方法：住民基本台帳

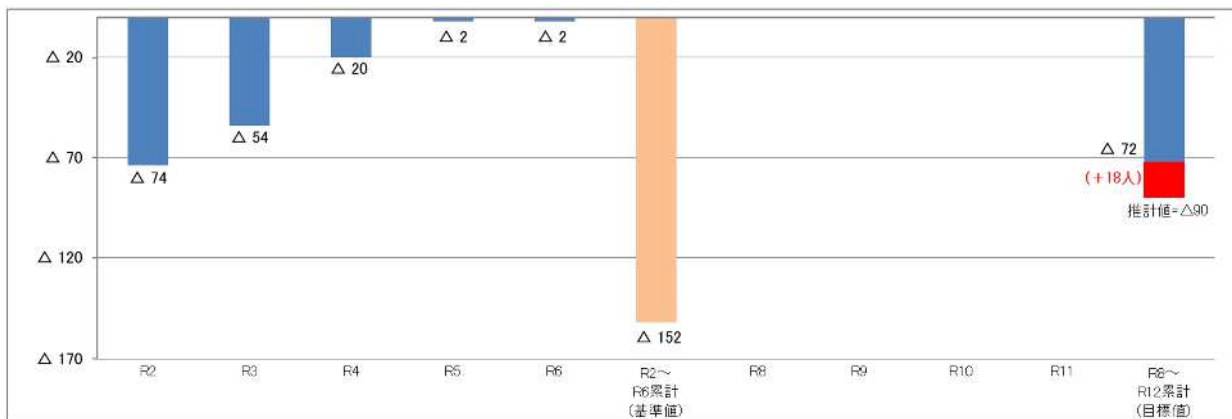
※調査月：各年4月～3月

※調査主体：伊勢市

※調査対象：中心市街地活性化区域内

【目標指標の設定方法について】

減少差の平均から、目標年度の数値を推計し、事業効果を積み上げ目標値を定める。



【目標指標に寄与する各事業について】

・空家対策事業、空家総合事業、木造住宅耐震補強等事業

市民アンケートでは、中心市街地の中古の1軒家に住みたいという回答が180件であった。全回答数1,815通のうち約80%が中心市街地外在住者であり、この中から5%の世帯が空き家に住むと想定する。

- ・180件×80%=144件（世帯）
- ・144世帯×5%=7世帯
- ・7世帯×2.25（人／世帯）= **16人増加**

・移住 PR 事業

移住検討者に対して、伊勢市で暮らすことの魅力や移住者支援施策のPRや移住支援金の支給により経済的負担を軽減することで移住を促進する過去4年間の移住支援金利用件数が1件だったため、本計画期間で1件増加させる。

$$\cdot 1 \text{世帯} \times 2.25 \text{ (人/世帯)} = \text{2人増加}$$

【間接的に効果が見込まれる事業】

・まちなかウォークブル推進事業

中心市街地の商店街等において、ウォークブル空間を創出することで、地域の魅力を高め、中心市街地への居住の促進に繋げていくことから、商業の活性化とまちなか回遊性の向上及び、都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住を促進する。

・伊勢市健康福祉ステーション利用促進事業

子育て世代から高齢者までが安心して暮らせる「笑子・幸齢化」のまちづくりを進め、住みたい・住み続けたいと感じられるまちとなることで、まちなか居住・定住を促進する。

・住宅リフォーム促進事業

住宅リフォーム等の工事費用の一部を支援し、市民の改修意欲等の向上や、中心市街地の空き家等への入居の促進を図る。

・まちなか移住創業促進事業

創業、就業、子育て支援等施策のPR等による情報発信や、移住相談会等の企画の実施によりまちなかへの移住促進を図る。

・自動運転バス事業

伊勢市駅と外宮・内宮を自動運転バスで結ぶことで、中心市街地への移動手段の利便向上を図り、まちなか居住を促進する。

目標3

観光の取組による中心市街地のにぎわい向上

目標指標⑤ 中心市街地活性化区域内の宿泊施設の宿泊者数

基準値 R6 年度
425,382人



目標値 R12 年度
497,000人

観光によるにぎわいを生み出すためには、魅力的な観光コンテンツの充実だけでなく、中心市街地での宿泊により滞在時間を延長させ、市内消費の拡大を図ることが重要である。そのため、これらの取り組みの効果を計測するための目標指標を設定する。

※調査方法：各宿泊施設への聞き取り

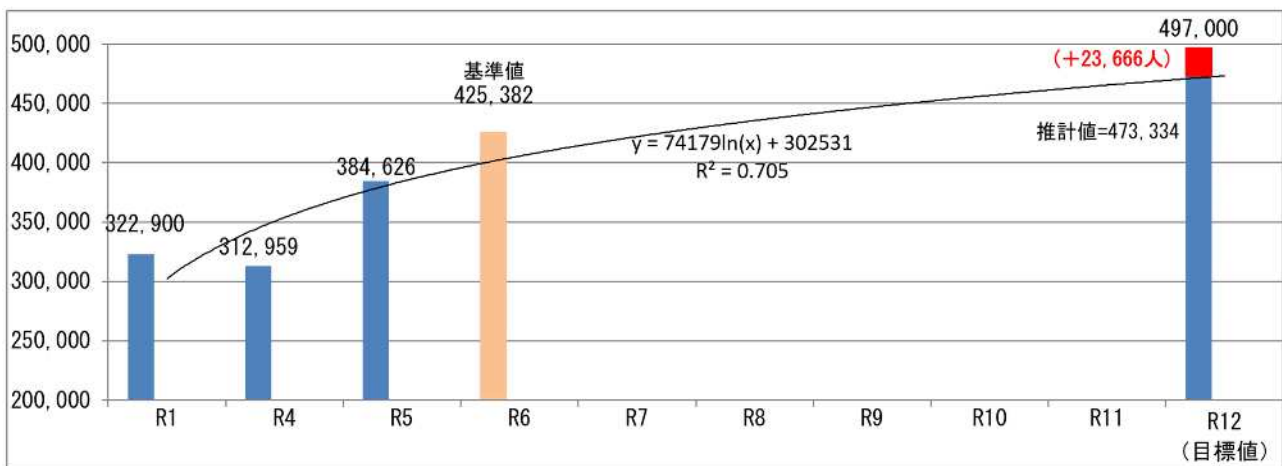
※調査月：各年1月～12月

※調査主体：伊勢市

※調査対象：中心市街地活性化区域

【目標指標の設定方法について】

R1 年度～R6 年度におけるトレンドを踏まえ、目標年度の数値を推計し、事業効果を積み上げ目標値を定める。R2～R3 は新型コロナウイルスの影響による異常値として判断し算定から除外する。



【目標指標に寄与する各事業について】

・御遷宮誘客宣伝事業、お木曳行事魅力発信事業

令和15年に第63回神宮式年遷宮が予定されていることや、「お木曳行事」が令和8年及び令和9年に予定されていることから、伊勢の魅力発信やイベントの開催等により、更なる誘客と宿泊客の増加を図る。

・ 425,382人 × 5% ≒ **21,300人増加**

・伊勢神宮奉納全国花火大会

花火大会開催日は前後の週に比して外宮参拝客が増加している。外宮参拝客数から中心市街地での宿泊者を算出し、前回お木曳行事が執り行われた平成18年から5年後の外宮参拝者の増加割合まで、宿泊者を増加させる。

- ・R6.7 外宮参拝者数 131,940人 中心市街地宿泊者数 28,612人
- ・中心市街地宿泊者数の外宮参拝者数との割合 $28,612 \div 131,940 = 21.7\%$
- ・R6.7.13(開催日)の外宮参拝者数 10,934人
- ・R6.7.13(開催日)の中心市街地宿泊者推計値 $10,934 \times 21.7\% = 2,373$ 人
- ・前回お木曳開催年(H18)から5年後(H22)の外宮参拝者数の増加率
 $2,300,461$ 人 \div $1,564,822$ 人 $= 47\%$ 増
- ・R12目標値 $2,373$ 人 $\times 47\% \div$ **1,150人増加**

・集大会合宿誘致事業

中心市街地での宿泊を含むスポーツ合宿や文化合宿等の集大会をさらに積極的に誘致し、上記事業と同様に、令和6年度実績の47%増加を目指す。

- ・令和6年度の中心市街地での宿泊数 2,337人
- ・ $2,337$ 人 $\times 47\% \div$ **1,106人増加**

・お伊勢さんマラソン

マラソン参加者のうち宿泊プランを利用して中心市街地に宿泊した人数は、令和5年から令和6年にかけて増加している。今後も旅行会社と連携し、プラン利用による中心市街地宿泊者を増加させる。

- ・宿泊プランによる中心市街地宿泊者の増加率 76 人 \div 60 人 $= 26.7\%$
- ・今後5年間も同様に増加させる $26.7\% \times 5$ 年 $= 133.5\%$ 増加
- ・ 76 人 $\times 133.5\% \div$ **110人増加**

【間接的に効果が見込まれる事業】

・文化資源保存活用事業

新たに中心市街地区域内に開館する伊勢市歴史博物館では、展示や体験イベント、多様な団体と連携した催しを通じて、本市の歴史文化や地域資源の情報を発信していく。これらの取組を通じて、来訪者の興味・関心を喚起し、市内の名所・旧跡や博物館等への周遊を促すことで、滞在時間の延伸、宿泊促進、観光消費額の向上を図る。

・公共交通機関とのタイアップキャンペーン事業

公共交通機関とタイアップし、主要駅にポスターやサイネージ等を掲出することにより、伊勢市駅を中心とした中心市街地への誘客を図り、さらに市内周遊施策も合わせて実施することで、宿泊促進及び滞在時間延伸を図る。

・ **着地型旅行商品造成事業**

何度も伊勢に来ていただく動機付けとなるような伊勢の魅力を盛り込み、多様化する観光客ニーズにも対応した事業企画、旅行商品造成及びその販売促進、プロモーションを行うことにより、伊勢市駅周辺への宿泊促進及び滞在時間延伸を図る。

・ **河崎まちなみ魅力創出事業**

伊勢河崎商人館の活用や、舟運、商人市等のイベントの実施、空町家や空蔵等の利活用により、宿泊の促進を図る。

・ **伊勢市「日本版ライドシェア」長期実証事業**

タクシーの稼働台数が不足する金曜と土曜の夜間にライドシェア車両を運行し、市民と観光客へ効率的な移動手段を提供することで、中心市街地への宿泊促進を図る。

・ **レンタサイクル事業**

中心市街地と市内観光スポット等を結ぶ周遊利便の増進及び、サイクルツーリズム推進のための自転車をはじめとした各種モビリティの活用推進により、滞在時間の延伸を図り宿泊を促進する。

◇4から8までに掲げる事業一覧

全49事業（うち、再掲1事業）

「目標（目標指標）」における凡例

◎：直接目標（目標指標）への効果が見込まれる

○：間接的に目標（目標指標）への効果が見込まれる

事業番号	再掲事業番号	事業区分 (新規/継続)	事業名	実施主体	支援措置区分	支援措置	支援主体	目標（目標指標）				
								①日平均歩行者通行量	②店舗等の増減数	③4商店街の店舗等の増減数	④居住人口の社会増減	⑤宿泊施設の宿泊者数
4-1		新規	まちなかウォークラブル推進事業	伊勢市	(3)	社会資本整備総合交付金（まちなかウォークラブル推進事業）	国土交通省	◎	○	○	○	-
4-2		新規	公園長寿命化事業	伊勢市	(3)	防災・安全交付金（都市公園安全・安心対策事業）	国土交通省	-	-	-	○	-
5-1		継続	文化資源保存活用事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
5-2		継続	伊勢市健康福祉ステーション利用促進事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	◎	-	-	○	-
6-1		新規	移住PR事業	伊勢市	(2)②	地域未来交付金	内閣府	-	-	-	◎	-
6-2		継続	木造住宅耐震補強等事業	伊勢市	(3)	防災・安全交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）	国土交通省	-	-	-	◎	-
6-3		継続	空家対策事業	伊勢市	(3)	社会資本整備総合交付金（まちなかウォークラブル推進事業）	国土交通省	-	-	-	◎	-
6-4		継続	空家総合事業	伊勢市	(3)	空き家対策総合支援事業	国土交通省	-	-	-	◎	-
6-5		継続	住宅リフォーム促進事業	伊勢市	(4)			-	-	-	○	-
6-6		継続	まちなか移住創業促進事業	伊勢まちづくり株式会社ほか	(4)			-	-	-	○	-
7-1		新規	御遷宮誘客宣伝事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	◎
7-2		新規	お木曳行事実施事業	伊勢御遷宮委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-3		新規	お木曳行事魅力発信事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	◎
7-4		新規	三重県版経営向上計画実施支援補助金	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	-	◎	◎	-	-
7-5		新規	二十歳のつどい連携事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	○	-
7-6		新規	地域ブランド推進支援事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	-
7-7		継続	商店街空き店舗対策支援事業	伊勢市、伊勢まちづくり株式会社	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	◎	◎	-	-

◇4から8までに掲げる事業一覧

事業番号	再掲事業番号	事業区分 (新規/継続)	事業名	実施主体	支援措置区分	支援措置	支援主体	目標（目標指標）				
								①日平均歩行者通行量	②店舗等の増減数	③4商店街の店舗等の増減数	④居住人口の社会増減	⑤宿泊施設の宿泊者数
7-8		継続	商業魅力アップ支援事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	-	○	○	-	-
7-9		継続	創業支援事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	-	◎	◎	-	-
7-10		継続	伊勢のまつり開催事業	伊勢まつり実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	-
7-11		継続	観光客実態調査事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-12		継続	伊勢神宮奉納全国花火大会	伊勢神宮奉納全国花火大会委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	◎
7-13		継続	お伊勢さんマラソン	お伊勢さんマラソン実行委員会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	◎
7-14		継続	駅前等イルミネーション事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-15		継続	集大会合宿誘致事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	◎
7-16		継続	公共交通機関とのタイアップキャンペーン事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-17		継続	着地型旅行商品造成事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-18	5-1	継続	文化資源保存活用事業	伊勢市	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-19		継続	伝統継承行事初穂曳実施事業	伊勢神宮奉仕会	(2)①	中心市街地活性化ソフト事業	総務省	○	-	-	-	○
7-20		新規	中小企業サポート事業	伊勢市	(3)	ローカルスタートアップ経費)	総務省	-	○	○	-	-
7-21		継続	商店街等振興対策事業	伊勢市、伊勢まちづくり株式会社	(3)	社会資本整備総合交付金（まちなかウォークアブル推進事業）	国土交通省	○	○	○	-	-
7-22		継続	地域おこし協力隊事業	伊勢市	(3)	地域おこし協力隊導入に係る特別交付税措置	総務省	-	○	○	-	-
7-23		継続	ふるさと未来づくり事業	伊勢市	(3)	住民共助による居場所づくり等への支援	総務省	-	-	-	○	-
7-24		新規	経営力向上支援事業利子補給補助金	伊勢市	(4)			-	◎	◎	-	-
7-25		新規	ビジネス・移住コミュニティ推進事業	伊勢市	(4)			-	○	○	○	-
7-26		新規	ウォーキング普及事業	伊勢市	(4)			○	-	-	-	-
7-27		新規	ペアレント・トレーニング事業	伊勢市	(4)			○	-	-	-	-
7-28		継続	観光客への情報提供事業	伊勢市	(4)			-	-	-	-	○
7-29		継続	都市機能再生促進事業（伊勢市駅前地区）	伊勢市	(4)			○	○	○	-	-
7-30		継続	まちなか誘客事業	伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社ほか	(4)			○	-	-	-	○

◇4から8までに掲げる事業一覧

事業番号	再掲事業番号	事業区分 (新規/継続)	事業名	実施主体	支援措置区分	支援措置	支援主体	目標（目標指標）				
								①日平均歩行者通行量	②店舗等の増減数	③4商店街の店舗等の増減数	④居住人口の社会増減	⑤宿泊施設の宿泊者数
7-31		継続	河崎まちなみ魅力創出事業	伊勢河崎まちづくり衆、河崎本通り活性化会議、伊勢河崎まちづくり株式会社	(4)			○	-	-	-	○
7-32		継続	中心市街地の魅力創出事業	外宮にぎわい会議、伊勢市楽市実行委員会 <small>（ほか）</small>	(4)			○	-	-	-	○
7-33		継続	伊勢市駅前商店街活性化事業	伊勢市駅前商店街振興組合	(4)			◎	◎	◎	-	-
7-34		継続	しんみち未来創造事業	伊勢銀座新道商店街振興組合	(4)			◎	◎	◎	-	-
7-35		継続	繋ぐ高柳希望の風事業	伊勢高柳商店街振興組合	(4)			◎	◎	◎	-	-
8-1		新規	自動運転バス事業	伊勢市	(3)	自動運転社会実装推進事業	国土交通省	○	-	-	○	-
8-2		新規	伊勢市「日本版ライドシェア」長期実証事業	伊勢市	(3)	「交通空白」解消緊急対策事業	国土交通省	○	-	-	-	○
8-3		継続	おかげバスの運行事業	伊勢市	(3)	地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通確保維持事業）	国土交通省	○	-	-	○	-
8-4		継続	レンタサイクル事業	伊勢市観光協会	(4)			-	-	-	-	○